

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 5 月 6 日 (2021.5.6)

【公開番号】特開 2020-87696 (P2020-87696A)

【公開日】令和 2 年 6 月 4 日 (2020.6.4)

【年通号数】公開・登録公報 2020-022

【出願番号】特願 2018-220053 (P2018-220053)

【国際特許分類】

H 0 1 B 7/00 (2006.01)

H 0 1 B 7/18 (2006.01)

H 0 1 B 7/02 (2006.01)

H 0 1 B 11/04 (2006.01)

【F I】

H 0 1 B 7/00 3 1 0

H 0 1 B 7/18 C

H 0 1 B 7/18 E

H 0 1 B 7/18 H

H 0 1 B 7/02 G

H 0 1 B 11/04

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 25 日 (2021.3.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の同軸線と、
複数の対撚線が撚り合わせられており、前記複数の同軸線よりも外径が小さい複数の信号線と、を備え、

前記複数の同軸線と前記複数の信号線とが螺旋状に撚り合わせられており、
周方向において、前記複数の同軸線の間のそれぞれに前記複数の信号線が配置されてい
る、

複合ケーブル。

【請求項 2】

前記複数の同軸線の間のそれぞれに、前記複数の信号線が同数で配置されている、
請求項 1 に記載の複合ケーブル。

【請求項 3】

前記複数の同軸線と前記複数の信号線の周囲に巻き付けられた押さえ巻きテープと、
前記押さえ巻きテープの周囲を被覆するジャケットと、を備え、
前記複数の同軸線と前記複数の信号線のそれぞれが、前記押さえ巻きテープに接触して
いる、

請求項 1 または 2 に記載の複合ケーブル。

【請求項 4】

前記信号線は、制御信号を伝送する制御信号線と、データ通信用の通信線と、を有する
、
請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載の複合ケーブル。

【請求項 5】

前記制御信号線の外径は、前記通信線の外径の 80 % 以上 120 % 以下である、
請求項 4 に記載の複合ケーブル。

【請求項 6】

前記通信線は、撚線導体の周囲に発泡ポリプロピレンからなる絶縁体を有する絶縁電線
が対撚りされた通信線用対撚線を複数本備える、
請求項 4 または 5 に記載の複合ケーブル。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、上記課題を解決することを目的として、複数の同軸線と、複数の対撚線が撚り
合わせられており、前記複数の同軸線よりも外径が小さい複数の信号線と、を備え、前
記複数の同軸線と前記複数の信号線とが螺旋状に撚り合わせられており、周方向において
、前記複数の同軸線の間のそれぞれに前記複数の信号線が配置されている、複合ケーブル
を提供する。